

2022年（第16回）若手外国人農林水産研究者表彰（Japan Award）について

1 表彰制度の概要

(1) 趣旨

本表彰は、開発途上地域の農林水産業及び関連産業に関する研究開発に貢献する外国人研究者の一層の意欲向上に資することを目的とし、開発途上地域における研究開発に優れた功績を挙げた若手外国人研究者又は将来の技術革新等につながる優れた研究業績を挙げた若手外国人研究者3名に対し毎年農林水産技術会議会長賞を授与するものである。

(2) 表彰の対象者

2022年1月1日時点において40歳未満であり、かつ、海外の研究機関又は大学に所属し、開発途上地域の農林水産業及び関連産業に関する研究開発の業務に従事する開発途上国または地域の国籍を有する研究者であって、一定の条件を満たす者とする（注：過去に受賞を逃した者の再応募は妨げない）。

(3) 表彰の内容

受賞者は、表彰式への出席及び当該研究成果の発表のため日本に招へいされ（※）、表彰状及び5千米ドルの奨励金（褒（もたい）・JIRCAS賞）を授与される。

2 本年の実施概要

(1) 募集期間

令和4年1月11日（火曜日）から2月28日（月曜日）

(2) 応募件数

46件

(3) 選考委員会

2022年7月22日（金）に実施。選考委員は、以下のとおり。

岩元 睦夫	元農林水産技術会議事務局長
小山 修	国立研究開発法人国際農林水産業研究センター理事長
中澤 克典	農林水産技術会議事務局研究総務官
夏秋 啓子	東京農業大学名誉教授 東京農業大学稲花小学校校長
原田 信彦	株式会社読売新聞東京本社東北統括本部長補佐
丸山 清明	独立行政法人農業・食品産業技術総合研究機構元理事
村上 秀徳	公益財団法人食品等流通合理化促進機構会長